

説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5. 3. 1	ページ	p.11	行	7行目
事業名	情報通信機能整備		河川名	淀川、桂川、木津川下流			
府 県	大阪、京都府	市町村	沿川市町村		地先		

●現状の課題

破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

●河川整備の方針

1)情報の提供、伝達システムの整備等  
人命被害を防ぐためには、住民、自治体、地下街やライフラインの管理者等が河川の状況に関する情報を的確に把握することが重要である。このため、河川情報の提供システムの強化を図る。

●位置図



●具体的な整備内容

- ・情報通信機能整備  
光ファイバー、CCTV、河川情報表示盤等の情報設備の整備を継続して管内全域で実施する。
- ・情報配信  
NHK等マスメディアへの情報配信

・事業の数量・諸元等

- 光ファイバー L=60km
- CCTV設置 34箇所
- 河川情報表示板 32箇所
- 樋門遠隔監視 11箇所
- 光センサー 36箇所

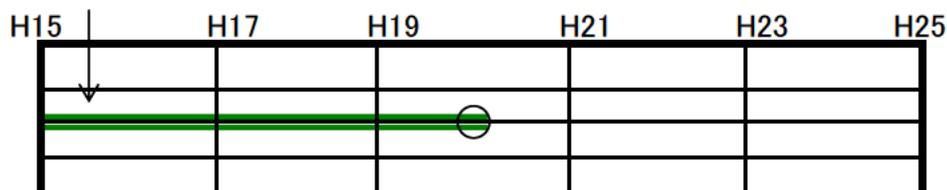
●事業費

- ・全体事業費 約120億円
- ・うち整備計画期間内事業費 約45億円

●スケジュール

継続実施

== 実施



平面図(機構図、体制図)



横断図(構造図、フローチャート)

河川情報表示板



地下街での情報提供(みちまちスクエア)



説明資料(第1稿)での記載箇所	章項目	5. 3. 1	ページ	p.13	行	6行目
事業名	流域内保水機能、貯留機能強化	河川名	淀川水系			
府 県	三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県					

●現状の課題

●河川整備の方針

流域内における保水機能や貯留機能の保全、増大方策について土地利用計画の見直しも含めて、自治体と連携して検討する。

●位置図



●具体的な整備内容

沿川自治体により構成する「洪水被害ポテンシャル低減方策協議会(仮称)」を設置し、関係機関並びに施設管理者や住民などが連携して、下記の項目等について検討

- ・公共施設地下貯留施設の機能の担保
- ・民間管理施設の貯留機能の担保
- ・既設の調整池の機能の回復

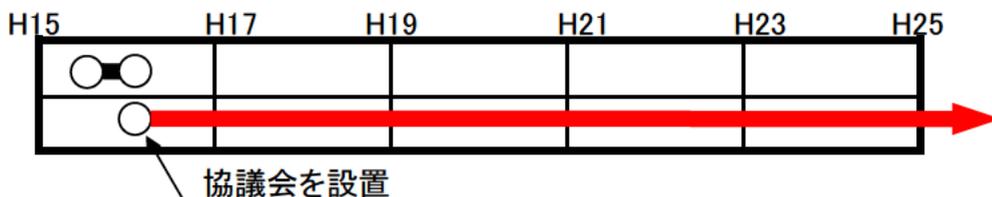
・事業の数量・諸元等

・うち整備計画期間内の数量・諸元等

●事業費

●スケジュール

■ 調整  
■ 検討





説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5. 3. 1	ページ	p.13	行	24行目
事業名	淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川			
府 県	大阪府	市町村	枚方市		地先	新町	

●現状の課題

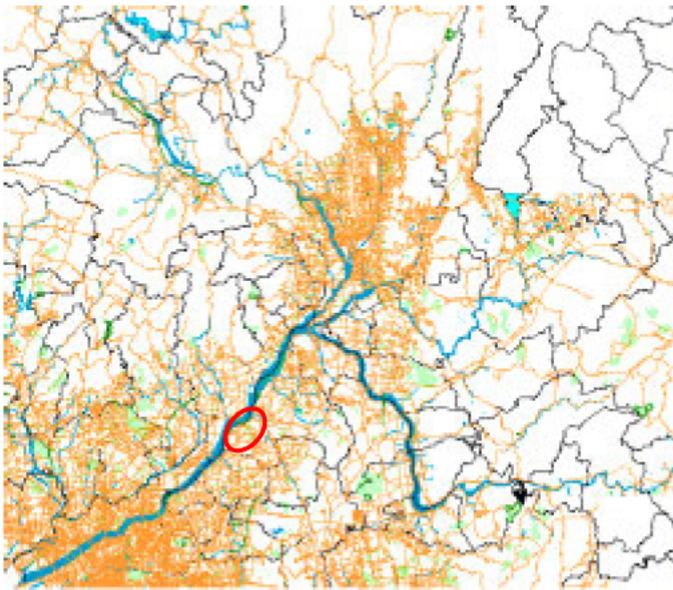
破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針

①高規格堤防化

まちづくりと一体となった整備の調整が図られた箇所を実施する。

●位置図



●具体的な整備内容

・高規格堤防化

継続地区の新町地区を実施

・事業の数量・諸元等

(病院建設と一体的に整備)

延長 330m、面積7. 0ha

盛土 7, 000m<sup>3</sup>

・うち整備計画期間内の数量・諸元等

盛土 7, 000m<sup>3</sup>

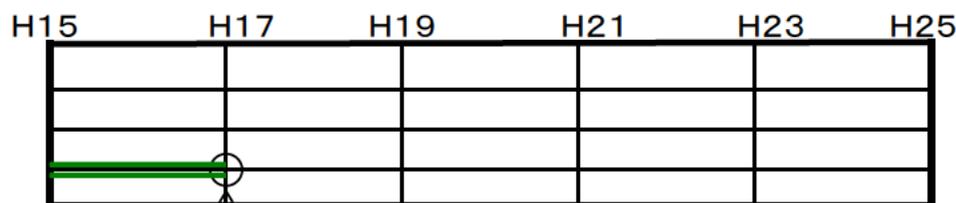
●事業費

・全体事業費 約 3億円

・うち整備計画期間内事業費  
約 3億円

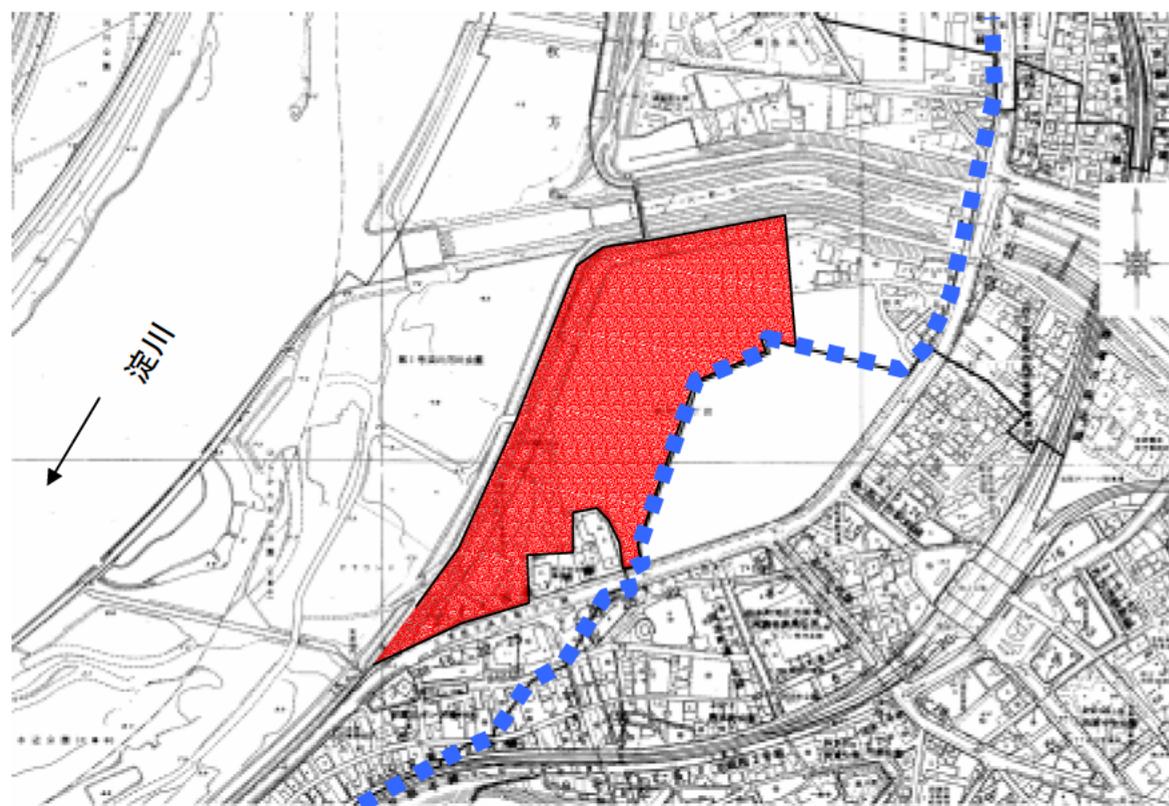
●スケジュール

== 実施



事業完了

●平面図



●横断面図



●写真



説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5. 3. 1	ページ	p.15	行	27行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	木津川下流			
府 県	京都府	市町村	沿川市町村		地先		

●現状の課題

現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

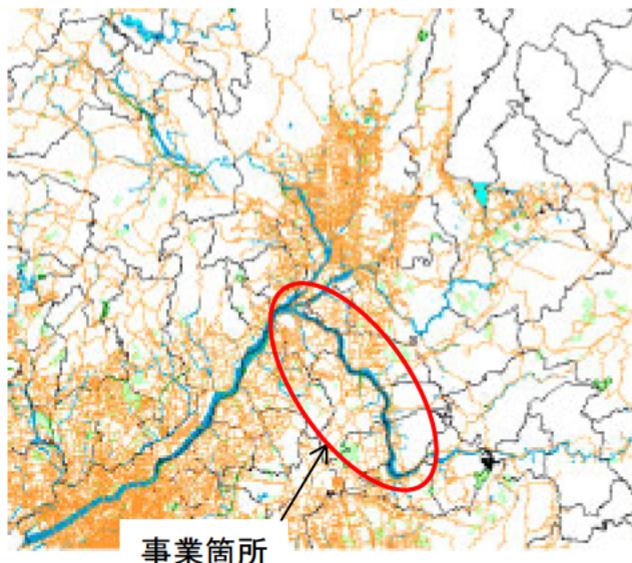
●河川整備の方針

②応急的な堤防強化

破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的な堤防強化を実施。

その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

●位置図



●具体的な整備内容

・応急的堤防強化延長 約55km

・事業の数量・諸元等

浸透対策 約54km

洗掘対策 約21km

越水対策 約42km

(対策延長「重複有り」)

●事業費

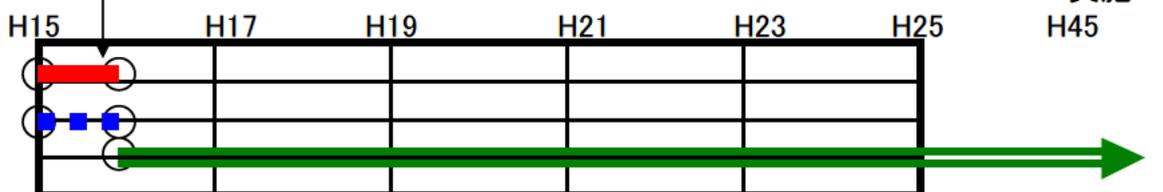
・全体事業費 約 2,000億円

・うち整備計画期間内事業費

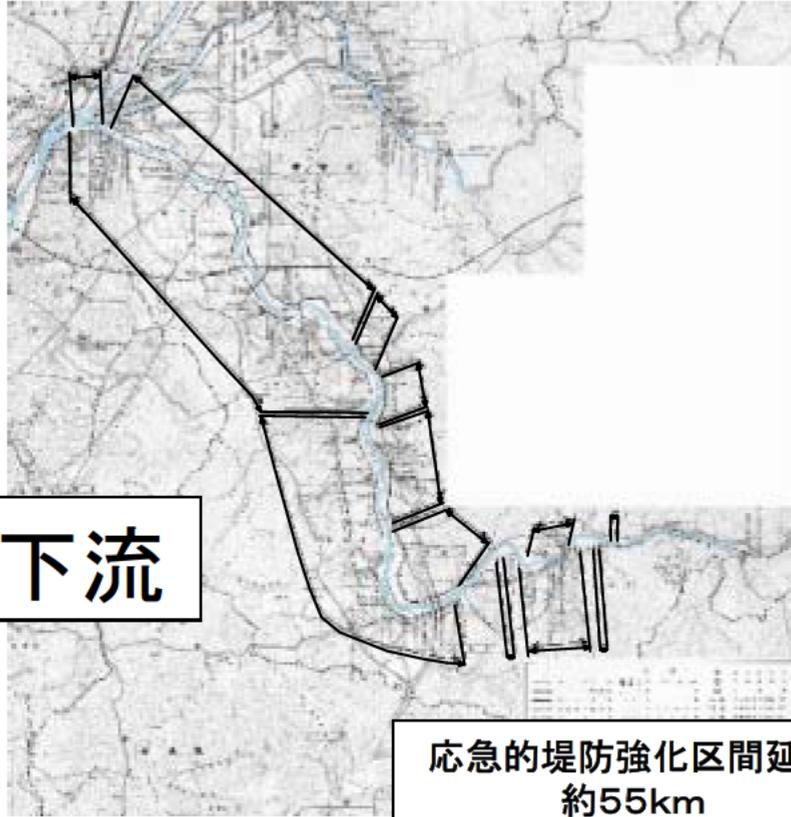
約 1,100億円

●スケジュール

検討、委員会



●平面図

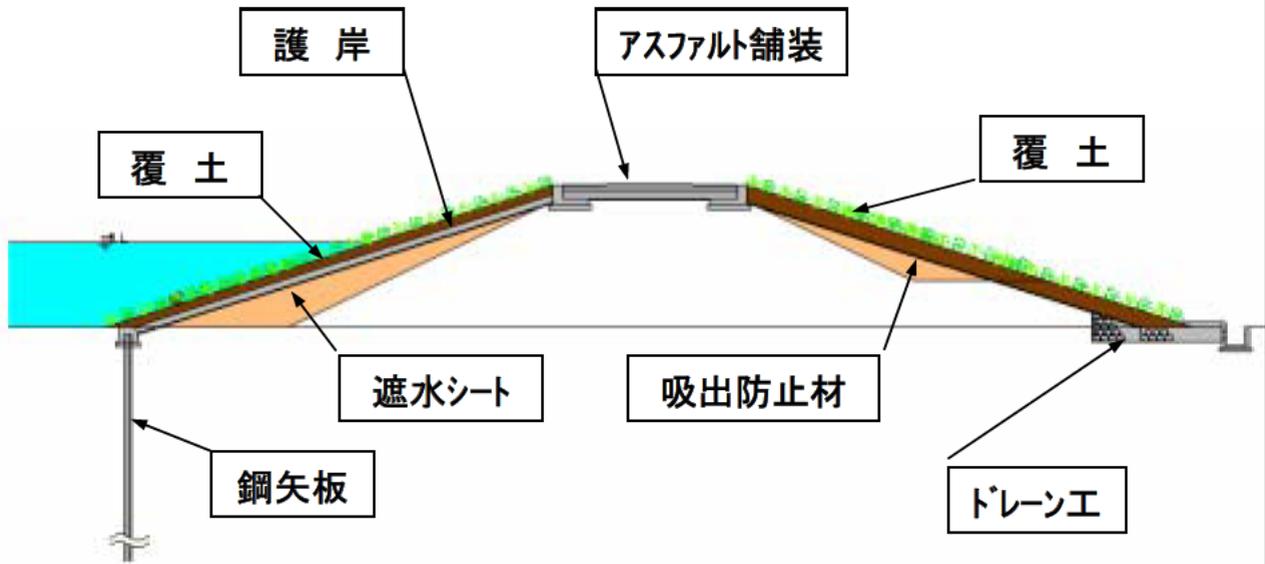


木津川下流

応急的堤防強化区間延長  
約55km

●横断面図

応急的堤防強化 標準横断面図



説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5. 3. 4	ページ	p.19	行	31行目
事業名	歴史・文化的価値のある施設の保全		河川名	淀川・宇治川・瀬田川			
府 県	大阪府・京都府・滋賀県	市町村	大阪市・京都市・大津市	地先	長柄東・葎島金井戸町・黒津地先		

●現状の課題

洪水、高潮等による災害防止のための堰、排水機場、樋門、堤防、護岸等の河川管理施設の機能を確保するため、日常から、河川管理施設の操作・巡視点検を実施し、非常時においても速やかな復旧並びに維持補修対策を実施している。

●河川整備の方針

歴史・文化的価値のある河川構造物等は、地域住民と連携して保全し、後世に伝承する。

●位置図



●具体的な整備内容

その他歴史・文化的価値のある施設の保全

- 旧毛馬閘門及び洗堰
- 三栖閘門及び洗堰
- 南郷洗堰

●事業の数量・諸元等

- 施設の維持管理及び保全

●スケジュール

== 実施

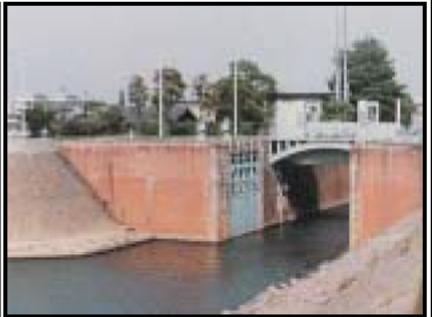


# 河川構造物等(河川管理施設) 歴史的価値のある施設の保全

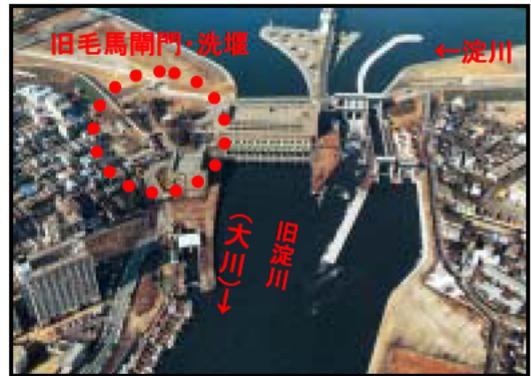
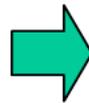
## ◆旧毛間閘門及び洗堰

新淀川を開削したのに伴い、旧淀川(大川)との分派点に舟運の確保と旧淀川への維持用水の供給などのため、それぞれ明治40年、明治43年に築造され、現在は新閘門にその機能を引き継いでいる。

所在地:大阪市北区長柄東



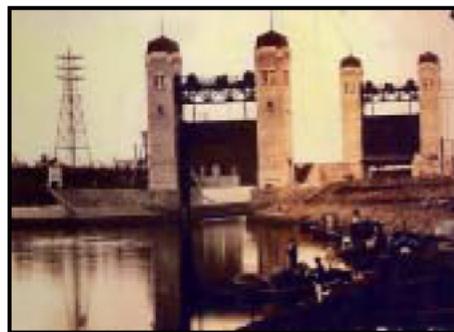
S47.4 淀川大堰着工前の状況



## ◆三栖閘門及び洗堰

大阪から京都間の物資の輸送の拠点である伏見港への舟運のため、昭和4年に築造されたが、水運の衰退により現在は使用されていない。

所在地:  
京都市伏見区霞島金井戸町



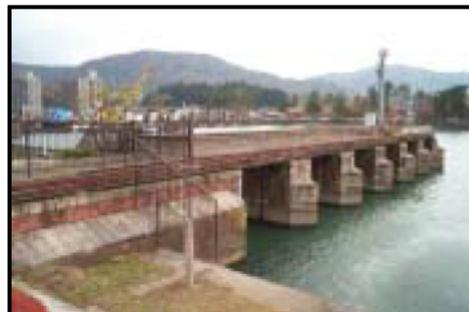
三栖閘門周辺整備イメージ



## ◆南郷洗堰

琵琶湖周辺の洪水防御及び水位維持を目的に瀬田川に建設された「南郷洗堰」は、明治38年に完成した。昭和36年瀬田川洗堰の築造によりその役割を終えた。

所在地:  
滋賀県大津市黒津(左岸)  
南郷(右岸)



説明資料(第1稿)での記載箇所		章項目	5. 3. 4	ページ	p.20	行	21行目
事業名	安全利用のための対策		河川名	淀川水系直轄河川			
府 県	大阪府・京都府・滋賀県・兵庫県・奈良県・三重県	市町村	沿川市町村		地先		

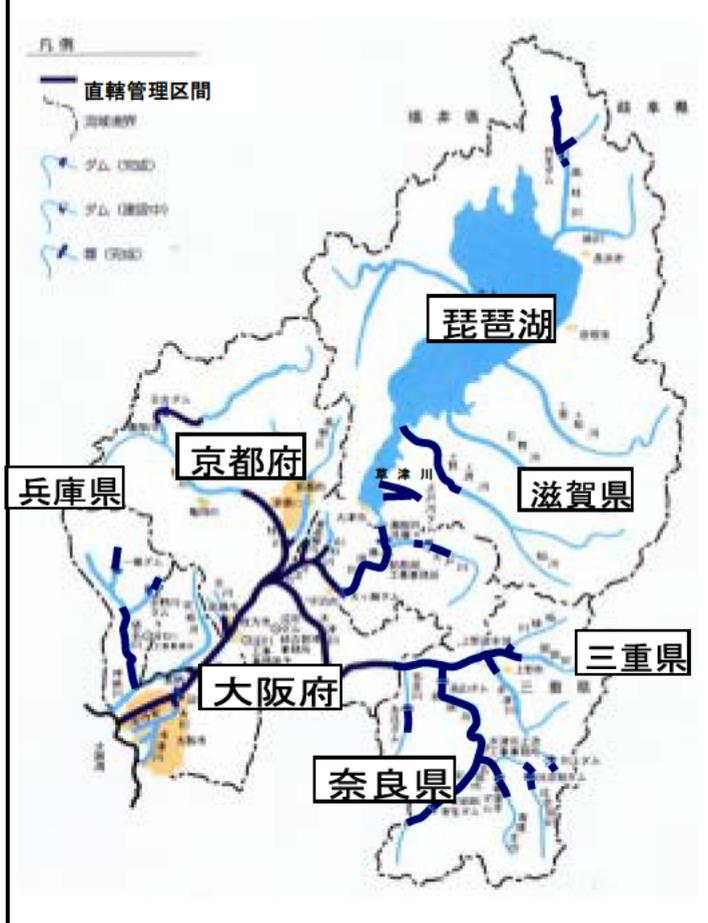
●現状の課題

水と緑の貴重な空間として河川空間が注目され、年々利用者が増加している。

●河川整備の方針

安心して利用できる河川空間を目指すとともに、危険が内在する河川の自然性を踏まえた河川利用及び安全確保のあり方に関する情報提供と啓発を行う。

●位置図



●具体的な整備内容

- 水難事故防止のため、水難事故防止協議会(仮称)を設置
- 危険な区域や安全な利用方法等についての情報公開及び啓発

・事業の数量・諸元等

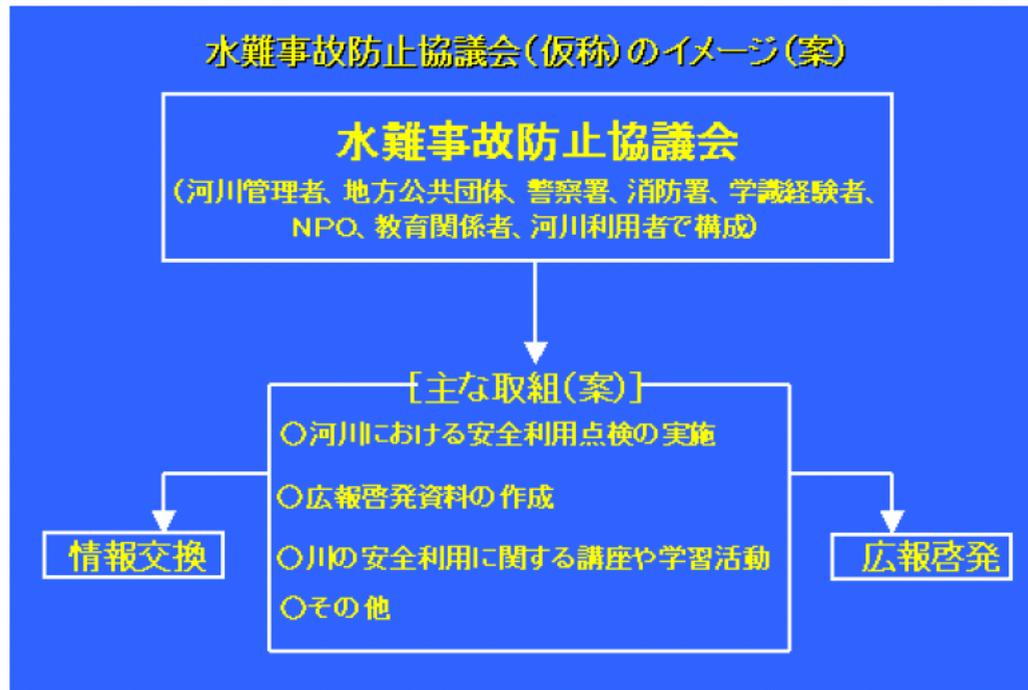
- 水難事故防止協議会(仮称)を設置 ○
- パンフレット等の作成・配布(継続実施)
- 川の安全利用に関する講座や学習活動(継続実施)
- 河川における安全利用点検(継続実施)
- 既存情報掲示板の活用
- 看板の設置
- HPIによる危険箇所等の情報提供
- インターネットやiモードによる水文情報提供

●スケジュール



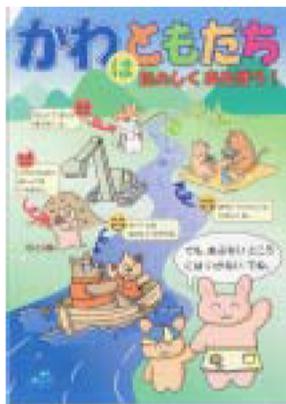
引き続き実施

●平面図(機構図、体制図)



●横断図(構造図、フローチャート)

・パンフレット等の作成・配布



・川の安全利用に関する講座や学習活動(出前講座)



・既存情報掲示板の活用



・HPによる危険箇所等についての情報提供

